



今年度、岡部Gは地区運営方針の中で4つの強調事項を打ち出されました。

- 1) クラブのサポートと強化
- 2) 人道的奉仕の重点化と増加
- 3) 公共イメージと認知度の向上
- 4) 未来の夢計画 (Future Vision Plan)

以上の4つを挙げられました。

その中の 3) 公共イメージと認知度の向上の中で岡部Gは「職業体験事業という形で中高生の若い方々にロータリアンの職場を知ってもらおうと考えています。現在、当地区では出前授業を行っていますが、今年度は中高生の職場体験事業、キャリア教育を考え、この活動を通じて若い人達の将来の目標達成に寄与したいと考えています。」と述べられております。地区の職業奉仕委員会といたしましてもこれを受けまして、まずはキャリア教育について勉強すべく8月20日のクラブ職業奉仕委員長会議で、キャリア教育に対する国の考え方「教育基本法の改正」「学校教育法の改正」「中央教育審議会の答申」などの中でキャリア教育にかかわる部分の勉強会を行いました。その中でキャリア教育とは「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」と述べられておりました。また「特に非正規雇用者が増加するといった雇用関係の変化や『大学全入時代』が到来する中、子どもたちが将来に不安を感じたり、学校での学習に自分の将来との関係で意識が見出せずに、学習意欲が低下し学習習慣が確立しないといった状況が見られます。今後更に、子どもたちの発達の段階に応じて、学校の教育活動全体を通じた組織的・系統的なキャリア教育の充実に取り組む必要がある」とも述べられておりました。キャリア教育の一端ではあり

ますが、職場体験学習に取り組むことは日本の将来のためにも大変意味のあることだと感じました。

では私たちロータリアンに何ができるのでしょうか？皆さんは職業奉仕という考え方の中で自分の職業をいかに奉仕という形に結びつけていけばよいか悩まされることはありませんか？そのひとつのわかりやすい答えがここにあるのではないのでしょうか？それは職場体験学習の受け入れ先になってみるというのはどうでしょうか。各市町村地域によって受け入れ方法はそれぞれあるでしょうし、日数も受け入れ人数も違うことでしょうか。また既にロータリーと関係なく受け入れをされている皆さんも数多くいらっしゃると思います。職場体験学習の受け入れとはクラブでどんな受け方ができるのかが始まりではなく、ロータリアンとして個人がまずI serveの考え方のもと職場体験学習の受け入れに対して前向きな考え方を持っていていただき、その機会に遭遇した時にはしっかりと受け入れていただく、そんな方が集まり、はじめてクラブとしての取り組み方法も見えてくるのだと思います。また何もクラブで取り組むからといって必ずしも職業奉仕委員会がその中心にならなければならないものではなく、新世代奉仕や社会奉仕など色んな委員会と共に行うプログラムとしても考えていけるのではないのでしょうか、現にそのような考え方のもとプログラムを実行されているロータリークラブもあるようです。

先にも述べましたし、少しオーバーな表現かも知れませんが、職場体験学習に取り組むことは日本の将来のためにも大変意味のあることだと感じております。また職場体験学習はどこの地域の学校でも行っていることですので、是非とも職場体験学習の受け入れに興味を持っていただき、実践されることをお願い申し上げます。